二島中学校だより　　１０号

＜学校教育目標＞

思いやりの心をもつ、自立した生徒の育成

令和７年１月２４日　　文責　諸藤貴子

今を大切に

＜子どもたちへ＞

新しい年が明け、一ヶ月が過ぎようとしています。『決意』が言葉や態度に表れていますか。続けることの意義をもう一度、考えてみましょう。社会の動きは著しく、多種多様な情報が入ってきます。何を見て何を信じて動くのか、自分の判断力も試されているところです。たくさんのことを同時に行い、成果につなぐことは容易いことではありません。「今、自分がすべきこと」をしっかり考えて行動しましょう。

中学校を卒業すれば、学ぶ環境を自分で決め、自立した社会生活をおくる　という次の段階に進みます。そのために、知識や教養・体力＋意欲（気持ち）を様々な場面や場所で身につけ磨いていると思います。先の見えにくい、正解のない今の時代だからこそ、人の言葉に耳を傾けながら自分の考え方とつなぎ、最善な策を探してよりよく生きるための方策を見つけていきましょう。

みなさんは一人ではありません。支えてくれる家族・友だち・先生がいます。たくさんの人とかかわって、会話の中で物事を処理する力を身につけ、ものの見方や考え方の幅をひろげ挑戦していきましょう。もちろん、地域のみなさんも応援してくださっています。

３年生は、入学試験が始まっています。１・２年生は、規則正しい生活を心がけ、次年度にむけて体力・学力向上に努めましょう。

＜保護者のみなさまへ＞

後期の学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。年頭の職員会議において教職員で成果と課題を確認しました。心の醸成と体力・学力向上に努めます。

（数値が高い項目）

☆　子どものアンケートより

（心）　自分の価値を認めてもらっている。あいさつがよくできる。

（学習）家庭学習の定着に課題

☆　保護者アンケートより保護者の願い　～　コミュニケーションの力をつけてほしい

○　学校として取り組むこと

① 学校生活や学習活動をとおして『自分の考えや気持ちを伝える場面の設定』、『次の活動に活かされる発問』を工夫する。習得したことを活用できるように、意欲につながる指導支援を行う。家庭学習の在り方について再検討する。

② よりよい人間関係が育まれるよう、言葉の選択や伝え方について繰り返し指導支援する。よいところを伸ばすことができる環境づくりに努める。